

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公表番号】特表2008-543338(P2008-543338A)

【公表日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2008-518339(P2008-518339)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月27日(2009.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト胚性幹(h E S)細胞から心筋細胞系列細胞を得るための方法であって、
a) アクチビン A の存在下であるが B M P の非存在下で該 h E S 細胞を培養する工程；および
b) その後、該細胞を B M P の存在下であるがアクチビン A の非存在下で培養する工程を包含する、方法。

【請求項 2】

前記 B M P が B M P - 2、B M P - 4 または B M P - 7 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 B M P が B M P - 2 である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 B M P が B M P - 4 である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 B M P が B M P - 7 である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 h E S 細胞が、アクチビン A の存在下で約 1 日間培養された後、前記 B M P の存在下で約 4 日間培養される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 B M P 培養工程に続いて、培地がアクチビン A も B M P も含まない培養工程をさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記追加の培養工程が少なくとも 1 週間にわたり行われる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記追加の培養工程が少なくとも 2 週間にわたり行われる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記追加の培養工程が I G F - I または I G F - I I を含有する培地中で行われる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

前記追加の培養工程が I G F - I を含有する培地中で行われる、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】

胚様体を形成させる工程を含まない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記 B M P 培養工程に続いて、前記培養物から細胞を回収する工程、および該回収した細胞集団を心筋細胞系細胞について富化させる工程をさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記回収した細胞集団がパーコール勾配によって富化される、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記富化が心臓体の形成を伴う、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 6】

h E S 細胞から心筋細胞系細胞の富化集団を得る方法であって、

- a) アクチピン A の存在下であるが B M P の非存在下で、無血清培地中で約 1 日間該 h E S 細胞を培養する工程；
 - b) その後、B M P の存在下であるがアクチピンの非存在下で、無血清培地中で約 4 日間培養する工程；
 - c) 該培養物から細胞を回収する工程；および
 - d) 該回収した細胞集団を心筋細胞系細胞について富化させる工程
- をこの順序で包含する、方法。